

2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年10月11日

上場会社名 リックソフト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4429 URL https://www.ricksoft.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 大貫 浩
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 俊彦 (TEL) 03-6262-3948
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	1,538	—	233	—	228	—	145	—
2019年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 144百万円(—%) 2019年2月期第2四半期 -1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	34.81	32.01
2019年2月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2019年2月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年2月期第2四半期の数値及び2020年2月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	1,718	1,275	74.2
2019年2月期	1,483	989	66.7

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 1,275百万円 2019年2月期 989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	20.9	406	9.4	408	5.8	283	11.0	67.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	4,204,600株	2019年2月期	4,127,800株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	48株	2019年2月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	4,193,594株	2019年2月期2Q	一株

- (注) 1. 当社は、2018年11月1日付で普通株式1株につき100株、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算出しております。
2. 2019年2月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年2月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や設備投資、雇用環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復基調が続いておりますが、人手不足感の高まりや増税の影響、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなどにより先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの属する情報通信サービスでは、人手不足や働き方改革の影響からIoTやAIなどの最新テクノロジーの導入が加速し、ビジネスシーンの変革を促すデジタルトランスフォーメーションが進行するなどIT投資は活発に推移し堅調な投資動向にあります。

当社グループは、『「価値ある道具（ツール）」を世界中の多くの人が使えるようにする』ことを企業使命とし、この企業使命を具現化するため、顧客のニーズを深く理解することを第一義に考えた活動を行っております。

当社グループが行うツールソリューション事業の中のライセンス&SIサービス業務、クラウドサービス業務、ソフトウェア開発業務はそれぞれが独立したのではなく、相互に有機的に結びついて機能することによって相乗効果を生み、高い企業価値を創造していると考えております。当社グループはライセンスやソフトウェアの販売において、顧客との直接取引が圧倒的に多く、長年にわたり築いてきた信頼関係により、顧客のニーズを迅速に知ることができます。そのため、当社グループの提供できるツールを組み合わせ、顧客のニーズに沿った付加価値のあるソリューションとして提案を行うことが可能になり、顧客の業務効率化の実現に向けて、他のパートナー会社との差別化を図っております。

今期導入した新しいツール（WhiteSource、Workato（ワーカート）、CARA等）は、大手の顧客を含む多数の引き合いをいただいております。今後は更なる拡販を図るべく取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続き、Atlassian社の製品及び新規取扱製品の販売を中心に、コンサルティング、基盤構築・運用、クラウドサービスの提供、並びに新規顧客の獲得によるビジネスの拡大を図り、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,538,571千円、営業利益233,901千円、経常利益228,401千円、親会社株主に帰属する四半期純利益145,993千円となりました。

なお、当社グループは「ツールソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ234,937千円増加し、1,718,214千円（前連結会計年度比15.8%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資による新株式の発行等により現金及び預金が243,387千円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ50,668千円減少し、443,145千円（前連結会計年度比10.3%減）となりました。主な要因は、未払法人税等が35,803千円減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ285,605千円増加し、1,275,069千円（前連結会計年度比28.9%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資による新株式の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ70,656千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が145,993千円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ243,387千円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,280,394千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、120,035千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益228,401千円、法人税等の支払額116,738千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5,670千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,470千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、133,904千円となりました。これは主に、株式の発行による収入が137,916千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績につきましては、2019年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,037,007	1,280,394
売掛金	292,381	270,276
電子記録債権	3,400	4,965
仕掛品	26,122	23,497
その他	14,117	28,351
流動資産合計	1,373,029	1,607,486
固定資産		
有形固定資産	37,655	38,744
無形固定資産	9,855	7,676
投資その他の資産	62,735	64,307
固定資産合計	110,247	110,728
資産合計	1,483,276	1,718,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,138	140,412
未払法人税等	123,419	87,616
前受金	108,950	115,237
賞与引当金	21,500	23,866
その他	90,148	61,304
流動負債合計	479,157	428,437
固定負債		
資産除去債務	14,656	14,708
固定負債合計	14,656	14,708
負債合計	493,813	443,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,546	307,202
資本剰余金	271,546	342,202
利益剰余金	481,564	627,557
自己株式	—	△335
株主資本合計	989,656	1,276,626
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△230	△1,594
その他の包括利益累計額合計	△230	△1,594
新株予約権	38	38
純資産合計	989,463	1,275,069
負債純資産合計	1,483,276	1,718,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	1,538,571
売上原価	945,591
売上総利益	592,979
販売費及び一般管理費	359,077
営業利益	233,901
営業外収益	
受取利息	52
販売奨励金	1,109
受取返還金	1,181
その他	71
営業外収益合計	2,415
営業外費用	
株式交付費	1,484
株式公開費用	113
為替差損	6,316
営業外費用合計	7,914
経常利益	228,401
税金等調整前四半期純利益	228,401
法人税、住民税及び事業税	82,788
法人税等調整額	△380
法人税等合計	82,408
四半期純利益	145,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,993

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	145,993
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,364
その他の包括利益合計	△1,364
四半期包括利益	144,629
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	144,629

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	228,401
減価償却費	4,519
のれん償却額	1,245
為替差損益(△は益)	3,729
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,366
受取利息	△52
株式交付費	1,484
株式公開費用	113
売上債権の増減額(△は増加)	20,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,624
仕入債務の増減額(△は減少)	5,495
前受金の増減額(△は減少)	6,286
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,114
その他	△19,947
小計	236,352
利息の受取額	52
法人税等の支払額	△116,738
助成金の受取額	368
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,470
敷金及び保証金の差入による支出	△1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	137,916
自己株式の取得による支出	△335
株式公開費用の支出	△3,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	243,387
現金及び現金同等物の期首残高	1,037,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,394

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月27日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行38,400株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ70,656千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が307,202千円、資本剰余金が342,202千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2019年8月8日開催の臨時取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議し、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より一層の投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2019年8月31日（土曜日）を基準日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2019年8月30日（金曜日））として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,102,300株
株式分割により増加する株式数	2,102,300株
株式分割後の発行済株式総数	4,204,600株
株式分割後の発行可能株式総数	15,896,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2019年8月15日
基準日	2019年8月31日
効力発生日	2019年9月1日

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2019年9月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたしました。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>7,948,000株</u> とする。	第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>15,896,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2019年9月1日

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2019年9月1日以降に行使する新株予約権の1株あたりの行使価額を以下のとおり調整いたしました。

新株予約権の名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	500円	250円
第2回新株予約権	500円	250円